

# 人間社会科学研究科から教育人文社会科学研究科へ

「知の総和」を高め、VUCA時代の困難な課題に立ち向かう高度専門人材の育成を推進強化する教育・人文・社会科学系の教育研究拠点

## 【これまでの実績】

1. 教育科学専攻において、総合研究大学としては国内唯一の博士課程後期への進学を視野に入れた教育人材の育成
2. 博士課程前期「ソーシャルデータサイエンスプログラム」「教育データサイエンスプログラム」の設置によるDX推進人材の育成
3. 6研究科を1研究科12プログラムに再編した分野横断的・分野融合的教育研究の推進

## 【社会的背景と課題】

1. 教育科学系に高い教育研究能力を有した教職員集団育成の加速化が求められている。（「多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を加速するための方策について（中教審諮問、R6）」
2. 人文・社会科学系研究においてDXの更なる高度化が求められている。（「第6期科学技術・イノベーション基本計画」閣議決定、R3）」
3. 人文・社会科学系において企業・行政等に就職する博士人材や留学生、社会人博士人材など、多様な博士人材の育成とそれによるキャリアパスの拡大が求められている。（「人文科学・社会科学系における大学院教育の振興方策について」中教審、R5、「我が国の『知の総和』向上の未来像」中教審、R7）」

## 【研究科再編の概要】

### 【教育科学専攻】

#### ①教職実践学プログラムの新設（博士課程後期）

教育科学専攻博士課程後期に、総合研究大学では日本初の教職大学院修了生を主な対象とする「教職実践学プログラム」を設置し、新たな学位として博士（教育）を授与する。

#### ②教師教育デザイン学プログラムの再編（博士課程前期・後期）

教師教育デザイン学プログラムについて、教職大学院のミッションが果たすような教員の養成ではなく、「教授学習科学プログラム」とし、12領域を「学習支援科学」「教授創成科学」の2コースに再編、教育研究能力の高い教育人材を育成。準研究者とも言える高等学校教員や、大学をはじめとする高等教育機関の教員、教育関係機関の教育専門職としての人材の養成を鮮明化する。

### 【教育科学専攻・人文社会科学専攻】

#### ③高度DX推進人材の育成（博士課程後期）

学年進行により、博士課程後期に「ソーシャルデータサイエンス」「教育データサイエンス」プログラムを設置し、高度なDX推進人材を育成する。

### 【教育課程全体の改革】

⑥トランスファラブルスキルを育成する研究科共通科目（博士課程後期）（「インターンシップ」「アントレプレナー養成」）の新設により、柔軟な博士人材を育成。

### 【人文社会科学専攻】

○既存プログラムの統合・再編による多様な博士人材の育成とキャリアパスの拡大

④「経済学プログラム」「マネジメントプログラム」を統合・再編し「経済学・経営学プログラム」とし、「経済学先端研究」「経済・マネジメント」の2コースを設置して研究者と高度専門職業人（社会人博士人材）を育成。

⑤「国際経済開発プログラム」を「政策科学プログラム」として再編し、主に留学生博士人材をはじめとし、グローバルな視点を持ちつつ個々人のウェルビーイング向上に資する政策立案・実施・評価・改善を推進する人材を育成。

## 【研究科名称変更の理由】

令和2年度の「人間社会科学研究科」設置時は、「教育」と「人文」の2領域を「人間」という抽象的概念に内包していた。しかし、近年、国内外における学術・社会環境では、専門性の明示と領域間の融合・連携の両立の重要性がより一層高まっている。そこで、特に教育科学を重点化することとし、「人間」を「教育」と「人文」に分け、教育科学、人文科学、社会科学という3つの柱を明確に示し、さらに、「教育」を前面に出すことで「教育」の重点化を可視化するため、研究科の名称を、「教育人文社会科学研究科（Graduate School of Education, Humanities and Social Sciences）」とした。